

ペンパル・プロジェクト

日本における異文化間のペンパル・プロジェクトによる英語学習の利点について私見を述べさせていただこうと思います。なぜなら、まずJTEまたはALTとして考えてみてください。こんな独特な機会をもらえば、生徒に学んできた英語を実際に使わせるという教育上の目標へ導くことができる有意義なこととなります。生徒たちはこの体験から何を学ぶことができるかと考えたことはございませんか？プロジェクトが実行できるか、または膨大な仕事になると躊躇してしまうなら、肯定的に考えましょう。自信を持ちましょう。そしてその中に蓄えている宝物をお楽しみください。時と共に進むと、その奨励が何年間もしくはそれ以上続くことが分かってくるでしょう。

はじめに、私が2012年に中学校で教えた経験をお伝えします。その学校でJTE主任とわたくしは海外の2校との連携ができました。ほかのJTEたちも協力してくださり、2年生に英語で書いた手紙を送り始めました。海外2校のうち、1校の生徒は日本語と日本文化への知識が少なく、時間が経つに連れて書信の往来に興味をなくし、件数も減りました。それに、こちらの生徒は英日辞書を使って手紙を翻訳せねばならず、付け加えられた仕事になり、海外の生徒は英語で書かれた手紙を受け、返すだけでした。こちらは明らかに大変な状況になり、バランスが崩れたように見えました。特に200人超の生徒が参加しているのに、全員が返事をもたらったわけではありませんでした。ではどうすればいいのでしょうか？

200人超の生徒だって！？つまり海外の生徒も200人超となり、合わせて400人超が参加したわけです。それはすごい数です。前述したもう1校は少々違っていました。どこが違うのでしょうか？単にその学校は日本語課程を持っていただけです。日本語を教える教員がいたことで、日本語と日本文化に興味を持ち日本の友達を作りたい生徒がいたのです。

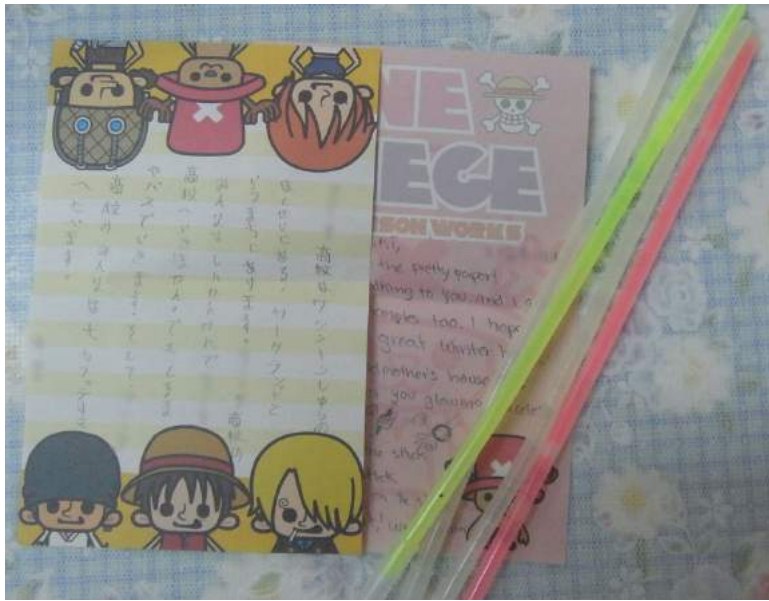
ペンパル・プロジェクトの2年目と3年目に、海外の2校には日本語課程が入っていました。新しく連携した学校では日本語教師がただだけでなく、ネイティブのJATもいました。従って協力する教員が多くなれば、両方の学校にとってもプロジェクトの維持がしやすくなります。手紙の管理と分類を行う仕組みもできたのです。手紙の交換回数は年に

3～4回にのぼりました。日本の新年度の初めから3年生はプロジェクトを終えねばなりません、新2年生は始めるのです。同年齢層で同等な言語能力をもつ日本の生徒と海外の生徒を組み合わせれば、数百人の生徒は自分以外の世界に興味を持つようになるのです。さらに生徒には互いに学んでいる言語をもっと勉強しようとするきっかけになります。興味深いことは、生徒たちに聞いたら手紙を書くのは宿題と思わないということです。さらに、もともと英語に興味がなく英語能力が低い生徒、また英語クラブを離脱した生徒が返事の手紙をもらったなら一生懸命返事を書こうとしました。何があったでしょう？その返事は日本語で書かれたのです！！そして中にはお土産が入ったものもありました。角度を変えてみれば、相手校の生徒は日本語の授業を選択しなくてもそのクラスに入り、日本語と日本文化を学ぼうとしはじめたのもこちらの生徒のおかげです。従って、手紙を書くことはコミュニケーション、文化交流、国際交流のもう一つの手段です。ただ、手紙を待つのに我慢しないと！

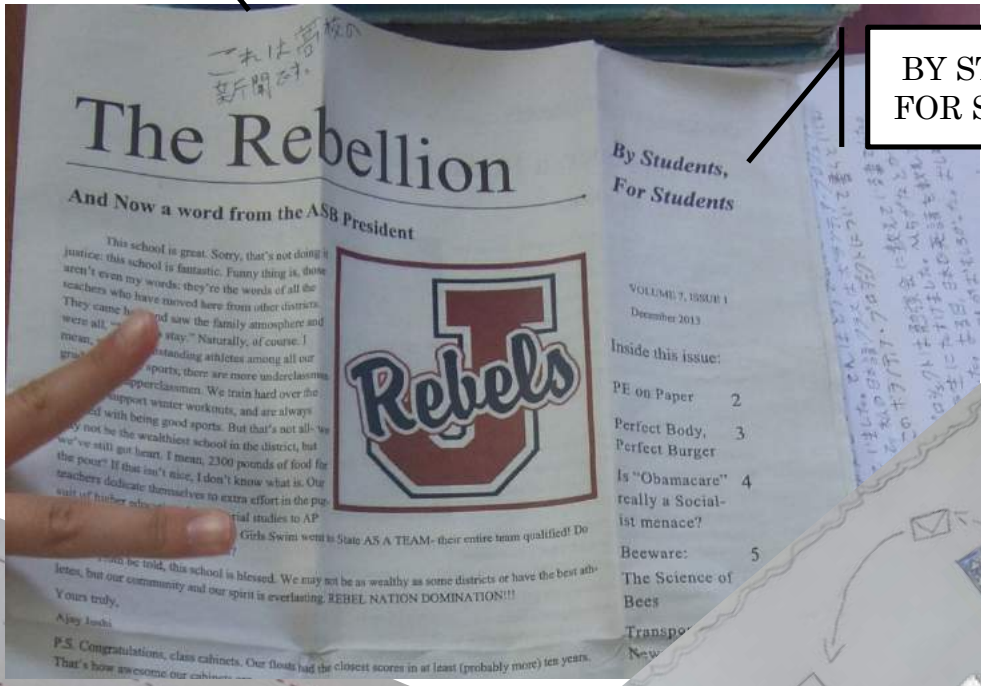
学校に英語クラブ（またはそれに近いもの）があれば、ぜひペンパル・プロジェクトを取り入れてみてください。私の場合は、部員にペンパルに関するポスター、プレゼンテーションビデオなどの作成に取り組んでもらいました。私は部員が届いた返事を数分間で素早く分類したことに驚きました。しかも、先輩部員によってプロジェクトをもっとしっかりさせたあと、一度相手校とビデオ・チャットで交流することができました。オンラインによる海外交流は将来日本の英語教育における次のステップの一瞥です。これらの体験は生徒に実用的技能と自信を与え、彼らも文化的代表として相手校と交流することになります。これらの課外学習、つまりペンパル・プロジェクトや英語部は日本の英語教育の一環になり両国の距離を縮めることができます。

それで私はそれらの学校と連携する機会をくれたJTE主任、手伝ってくれてプロジェクトを成功させたほかのJTEに感謝しています。様々な課題に出会うと思いますが、独創的なやり方で解決してください。諦めず、生徒を信じてください。

今の段階でもっとも難しいのは繋がりを見つけることです。どうやってあのような海外学校を見つけるのか、どういうふうに準備したらいいのか？それは、ぜひ私が作ったホームページ (jpn.eigoganbare.com) を参考してください。なぜなら英語教育というのは西洋各国の言語とそれら異なった文化を学ぶことです。それを身につけたら世界中のことが知れるのです。



これは高校の新聞です。



BY STUDENTS,
FOR STUDENTS



プレゼント

